

横浜市中央卸売市場の再編・機能強化について

横浜市中央卸売市場の統合整備につきましては、このたび、協議・調整を重ねてまいりました市場関係事業者団体の意見がまとまりました。これを踏まえて、本市では、

市場規模の適正化とともに、

顧客や消費者などのニーズに応える機能強化に市場関係事業者とともに取り組み、

市場と関係事業者の振興・発展を目指してまいります。

また、このような事業主旨に即して、今後本事業を「横浜市中央卸売市場の再編・機能強化」として、次のように進めてまいります。

1 基本的考え方

- (1) 商圏や立地条件などを考慮して、本場を中央卸売市場として、横浜市が引続き開設・運営します。
- (2) 南部市場は、中央卸売市場としては廃止しますが、本場を補完する加工・配送、流通の場として活用します。

	本 場	南 部
青果部 水産物部	中央卸売市場 外気遮断・温度管理型売場、 加工場等の整備実施 (本場に花き部はなし)	本場を補完する加工・配送、流通の場(原則民間による外気遮断・温度管理型施設への改修・整備)
鳥卵部		
花き部		商圏(市内南部及び三浦半島地区)特性を踏まえた、民営の花き流通センターまたは民営地方卸売市場
関連事業		青果、水産物、花き部門の支援的な役割とともに、消費者等にかかれた業態化

2 目標時期

商圏が競合する東京市場の機能強化の動向(大田市場青果部の大型低温物流センター整備:平成23年度稼働予定、築地市場の豊洲新市場移転:平成26年度予定)を踏まえて、概ね5年以内(平成26年度まで)を目標とします。

3 今後の取組

今後は、引続き市場関係事業者と協議しながら、南部活用方法の具体化や、本場・南部間移動の条件調整と実施、施設整備、出荷者や販売先顧客の協力確保、法令の手続き等を行ってまいります。

<参 考>

○経 緯

1 包括外部監査意見

平成18年3月、包括外部監査で次のような意見が出されました。

(1) 市場の取扱量減少、市場事業者の経営悪化、中央卸売市場費会計への一般会計繰入状況を踏まえ、

(2) 今後の市場のあり方(2市場体制を維持するか否か等)の検討を求める

2 横浜市中心卸売市場開設運営協議会答申

包括外部監査の意見を受けて、平成18～19年度に横浜市中心卸売市場開設運営協議会で、今後のあり方が検討され、平成20年3月、次のような答申が出されました。

(1) 中央卸売市場を引続き開設・運営すること

(2) 市場機能の強化を図ること

(3) 市場規模の適正化(本場・南部市場の統合)を図ること

ア 統合時期：南部市場の施設が更新時期を迎える概ね10年後を目標

イ 統合場所：①「本場への統合(南部市場用地の物流センター等での活用も検討)」
②「南部市場への統合」
③本場・南部市場以外の候補地への「移転新設」

3 新市場整備協議会(市場関係事業者と横浜市)の検討組織

横浜市中心卸売市場開設運営協議会の答申を踏まえ、平成20年度以降、市場関係事業者と横浜市で検討を重ねてきました。

○市場の状況

1 事業者数

(H22.6.1現在)

		本 場	南 部 市 場
卸売事業者	青 果 部	2 (本社)	2 (支社)
	水 産 物 部	2 (本社)	2 (支社)
	花 き 部	—	2
	鳥 卵 部	1	—
仲卸事業者	青 果 部	29	11
	水 産 物 部	78	29
	花 き 部	—	4
	鳥 卵 部	—	—
関 連 事 業 者		47	56
そ の 他		44	33
合 計		203	139

2 取扱量 (1) 本場・南部市場比較

単位：千トン()：取扱比率

平成21年度	青 果 部	水 産 物 部
本 場	376 (76%)	64 (65%)
南 部 市 場	122 (24%)	35 (35%)

(2) 本場・南部市場合計

単位：千トン ()：対ピーク時比率

	青 果 部	水 産 物 部	鳥 卵 部	花 き 部
平成21年度	498 (97%)	99 (35%)	2 (50%)	47百万本(56%)
過 去 最 高	515 (H19)	281 (S56)	4 (H3)	84百万本(H9)

3 販売先状況 (本場・南部市場合計)

単位：億円 ()：構成比

平成20年度	専門小売商	スーパー	納入業者	加工業者	飲食店ほか	合 計
青 果 部	226 (20%)	270 (23%)	281 (24%)	50 (4%)	322 (29%)	1,149
水産物部	133 (16%)	326 (39%)	77 (9%)	48 (5%)	265 (31%)	849

4 事業者の経営状況 (本場・南部市場合計・経常利益率)

平成20年度

	経 常 利 益 率	
	卸 売 事 業 者	仲 卸 事 業 者
青 果 部	0.23%	0.42%
水産物部	0.19%	△0.06%
花 き 部	0.11%	1.01%
鳥 卵 部	△2.00%	—